

# 自己抜針手順

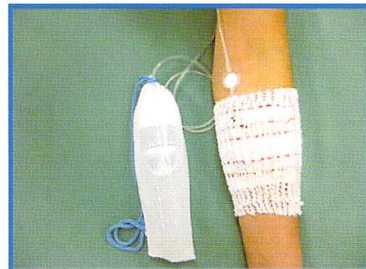
①石けんを使い流水できれいに手を洗ってください



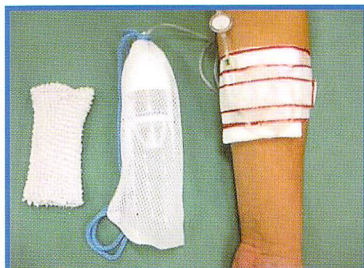
②必要物品の準備をします



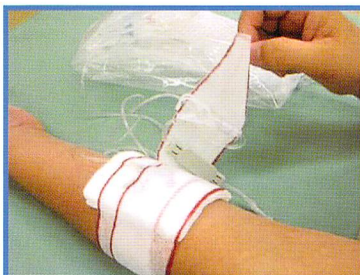
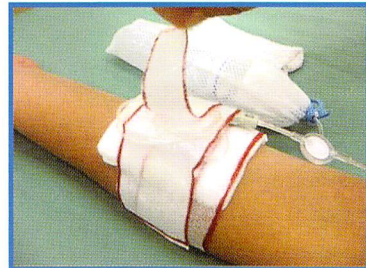
③ポンプを首からはずします



④ネットをはずします

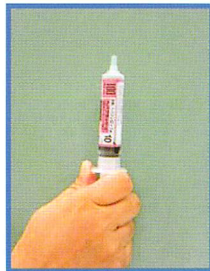
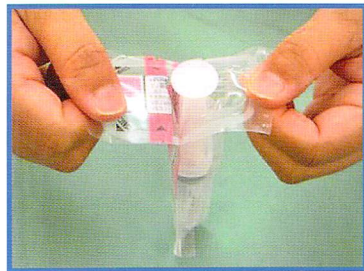


⑤耳のついたテープを上から二つ順番にはがします

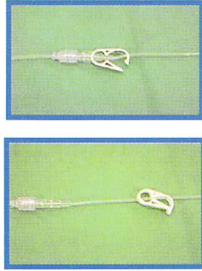


このとき針が抜けないように注意しましょう

⑥ヘパリンを注入しましょう

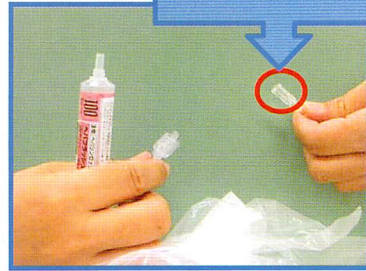


注射器を上に向け空気を抜きます



少しずらして白いクリップを止めます

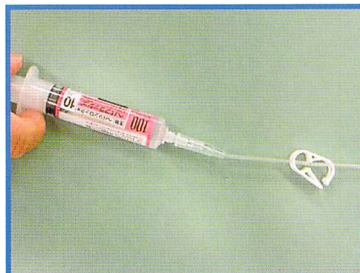
ここを消毒します



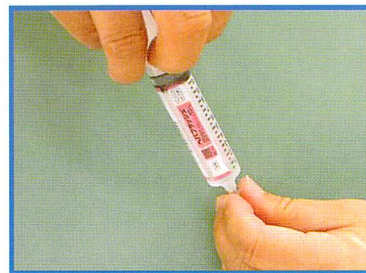
接続部ははずし、アルコール綿で消毒してヘパリンを接続します



はずしたポンプは薬液に触れないようにすぐにビニール袋に入れましょう

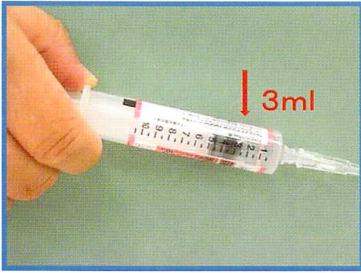


白いクリップを開きヘパリンを注入します

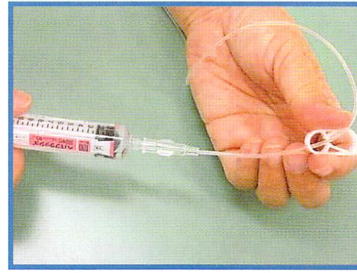


ヘパリンは注射器をリズムカルに押しながら注入しましょう

## ⑦針を抜きましょう



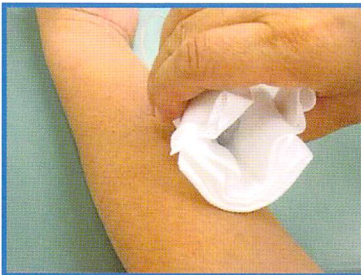
ヘパリンが残り3mlになったら



ヘパリンを注入しながら白いクリップを止めましょう



テープをはがします



針の翼とガーゼを一緒にガーゼの端を持ち上げます



針はまっすぐ真上に抜きます。抜きやすい方向にまわしてもかまいません

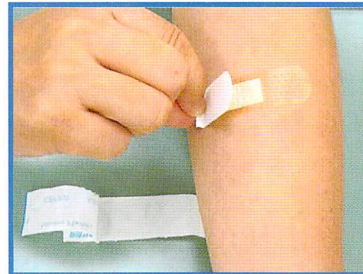


抜いた針は危険ですのでタッパーなどきちんとふたの閉まる容器に入れてください

## ⑧後始末



アルコール綿で消毒します



カットバンを貼りましょう、はがし忘れないようにしてください



抜いた針や使用したポンプは次回来院時にお持ちください

- ・チューブの接続部から薬液が漏れたりはずれた
- ・ポンプの液が予定通りに減らない
- ・ヘパリンが注入できない
- ・リザーバー留置部が痛い、腫れたり赤くなっている
- ・リザーバー留置部の手が腫れた、しびれる、手が冷たい
- ・目がみえにくい、しゃべりにくいなど普段と違う

こんなときには病院に連絡してください

### 連絡先

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター  
平日 8:30~17:00  
夜間・土・日・祝日

TEL 088-837-3000(代表)

外来ケアルーム  
救急外来

高知医療センターがんセンター 外来ケアルーム  
(平成24年度高知県地域がん診療連携拠点病院機能強化事業)